

審議会等会議録

審議会等の名称	第5回山口市新本庁舎整備専門会議
開催日時	令和元年5月21日（火曜日）15：30～16：30
開催場所	山口市役所第1委員会室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	山口大学大学院創成科学研究科 教授 鵜心治 山口県立大学社会福祉学部 教授 前田哲男 一般社団法人山口県建築士会 神徳香子 山口大学大学院創生科学研究科 准教授 瀧本浩一 （4名・敬称略）
欠席者	一般社団法人 山口県建築士会 会長 松田悦治 山口大学大学院創成科学研究科 准教授 鈴木春菜 山口商工会議所 専務理事 大田正之 （3名・敬称略）
事務局	総務部：中谷部長 濱田次長 本庁舎整備推進室：嶋壽室長 渡邊室次長 山本主幹 吉田主任主事 西川専門監
次第	1 委員長あいさつ 2 協議事項 （1）山口市新本庁舎整備基本計画（案）について 3 その他
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 【濱田次長】 本日は、大変お忙しい中、御出席いただき、ありがとうございます。 ただ今から、「第5回山口市新本庁舎整備専門会議」を開催します。なお、本日は松田委員、鈴木委員、大田委員の3名が所用により御欠席です。 それでは、次第にしたがいまして会議を進めます。まず、鵜委員長より御挨拶をお願いします。 1 委員長あいさつ 【鵜委員長】 今回が、第5回目の専門会議です。これまで新しい庁舎に何を求めるのか、どういう建築物がいいのかについて、十分に議論を重ねてきました。その中で、配置案や駐車場の計画、もしくは断層の問題、いくつか懸案事項がありましたが、本日事務局から適切な説明がなされると思っています。本日は活発な議論をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。 【濱田次長】 ありがとうございました。これ以降の進行については、鵜委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

2 協議事項

(1) 山口市新本庁舎整備基本計画（案）について

【鵜委員長】 それでは協議に入りたいと思います。前回までの会議では、基本計画案について議論を重ねてきました。概ねの内容は、各委員御了解いただいたものと理解していますが、来庁者用駐車場の整備台数、活断層調査の結果に伴う配置の問題の2点の懸案があったかと思います。

まず、来庁者用駐車場について、当初200台として事務局から提案がありましたが、前回の専門会議で実際の利用状況を踏まえた適切な台数整備の必要性を議論しまして、事務局のほうで実際の利用状況の調査を行い、計画案に反映させることとしていました。

また、活断層については、先般事務局から報告がありましたが、現本庁舎の整備区域には活断層は認められなかったということで、活断層による配置等の変更の必要性はなくなったものと理解しています。

本日は、これらを含めた、前回からの変更点を主に議論していただきたいと考えています。今後、事務局では6月末の基本計画決定に向けて作業を進めると報告を受けています。本専門会議は、基本設計の完了までをミッションとしていますが、基本計画の内容を協議するのは、本日が最後の場になるかと思いますので、皆様の活発な議論をお願いしたいと思います。

それでは、前回からの変更点を中心に事務局から説明をお願いします。

【嶋壽室長】 《「山口市新本庁舎整備基本計画（案）」の黄色い網掛け部分及び「山口市新本庁舎整備基本計画（案） 資料編」に沿って説明》

〔説明の一部抜粋〕

○25 ページ「■引き続き、新本庁舎への集約について検討を行う組織」について

前回の会議まで消防本部については、「新本庁舎へ集約しない組織」として整理しながらも、消防本部と中央消防署との一体的な業務遂行による効率性や、本庁機能と相互に連携できるような方策を検討してきました。こうした中で、本市を含めた4消防本部で通信指令業務の共同運用への調整も進めていますことから、その状況を注視しながら関係部局で調整を行い、設計等の中で詳細の検討を行うこととしていました。これらの表記が分かりにくかったため、消防本部につきましては、新たに「引き続き、新本庁舎への集約について検討を行う組織」として、項目の整理を行いました。

また、26 ページの想定職員数870人については、現時点では消防本部職員を含めていないことを追記しています。

○29～30 ページ「(5) 駐車場・駐輪場の規模」について

前回の専門会議で、来庁者用の駐車場については、具体的な数値に基づき整備

台数の検討を行う必要があると委員から指摘がありましたことから、駐車場の利用状況について調査を行いました（資料編 44～45 ページ参照）。この状況を踏まえ必要台数の再検討を行いました。新たに本庁舎へ集約する組織等を考慮しますと一定の利用者の増加が見込まれますことから、本基本計画案においては来庁者用駐車場の台数は前回までと同じ 200 台とし、この度の調査結果等を踏まえ、設計において詳細の検討を行うこととしました。

30 ページの「②中央駐車場」については、現状と同じ 350 台を整備することとしています。網掛け部分について、これまで来庁者用駐車場について、新本庁舎 1 階部分に 100 台、残り 100 台を新立体駐車場に配置すると表記していましたが、具体的な台数配分は設計において検討することとしたため、この台数の表記を削除しています。

○33 ページ「②断層調査」について

このたびの断層調査について、調査に至った経緯と結果の要約を 33 ページに記載しました。報告内容について疑義の指摘があったことから、山口大学へ照会し、一部内容の修正をいただきました。その結果、「繰り返し活動した証拠を有する活断層は認められない」とした結論部分に変更はありませんでしたが、今後、この評価に加え設計段階で実施するボーリング調査の結果等を踏まえながら、引き続き情報把握に努め、免震構造を基本に最適な構造形式を検討・採用するなど、様々な災害時にも防災拠点として庁舎機能を維持できるよう高い耐震性を備えた施設を目指します。

○38 ページ「(3) 配置案の方針」について

38 ページの 3 案をどのように絞っていくのかという点については、本専門会議においてもパークロードからの顔づくりや予算等を比較・検討し議論していただきました。今後、設計の中で、建物デザイン等も踏まえ、配置案を検討していく方がよいものと考えています。こうしたことから、基本計画の中では、評価を整理した上で各案の特徴を踏まえまして、設計等において最適な配置についてさらに検討をするとして表記をしています。

【鵜委員長】 ただ今の説明について、御意見、御質問はありますか。

【A委員】 消防本部の取扱いについて、新本庁舎への集約を検討するとした理由は、通信指令の共同運用の検討が理由とのことですが、災害対策本部が立ち上がったときに、消防本部や関係機関との連携が重要です。現状の消防本部は庁舎と隣接しており、一体的に整備できる理想的な配置だと思います。災害時における災害対策本部の諸室の配置に合わせて、消防本部とのアクセスについても考慮していかなければいけないと思います。

【鵜委員長】 事務局、いかがでしょうか。

【嶋壽室長】 御指摘の件につきまして、20 ページの「a 災害対策本部機能」についてで触れていますが、災害対策本部が立ち上がったときに、迅速かつ円滑に機能できる諸室の配置のことや、情報の収集・共有・発信機能、スペースの整備等についても設計段階において検討したいと考えています。

【鵜委員長】 その他、ありますか。

【A委員】 1階に免震層を置き駐車場として活用している他の自治体や行政機関等で実例はあるのでしょうか。また、免震装置を入れることによって駐車場の台数等に影響があるのかお伺いします。

【嶋壽室長】 他市の事例としては、甲府市も免震構造として1階を駐車場として使用しています。また、免震層を駐車場として利用することについては、今回基本計画の策定支援業務にあたった設計事業者からも、技術的には当初予定していた100台分の整備は可能であるとして提案を受けています。

【鵜委員長】 その他、ありますか。

【B委員】 断層調査について、指摘を受けて一部修正されているようですが、指摘をされた方はこのことについて理解いただいているのでしょうか。

【嶋壽室長】 指摘された方には特に御覧いただいていませんが、今後公表予定です。

【鵜委員長】 事務局としては、結論部分に関しては変更が無いと理解して判断したということですね。

【嶋壽室長】 はい。

【A委員】 昨年6月の市議会定例会で議員が参考にしたという論文は地質学的アプローチから断層の疑いがあるとされたようですが、今回の調査では第四紀層に活動した活断層はないとしてあり、国の地震調査研究推進本部が公表している主要活断層図についても活断層の線はないとされています。指摘されているとおり、ボーリング調査については、建設に関しての部分でしっかり地下探査をして精査してほしいとは思いますが、活断層については一旦クリアしたものと個人的には考えます。

【嶋壽室長】 結論部分については、ただ今委員から助言いただいたとおり、活断層は認められないということです。設計段階で地質調査等もしっかり行い、さらなる情報把握に努めたいと考えています。

【鵜委員長】 基本計画の断層調査のまとめとしては、33ページの「②断層調査」について、特に最後の4行の記述にまとめられていると考えています。これらの内容について意見があればこの場で言っていただきたいと思います。いかがでしょうか。

【A委員】 この建設敷地内で活断層がないということが確認できただけであり、近傍には地震調査研究推進本部が公表している活断層もあることから、地震が起こるリスクは常にあると考えるべきだと思います。免震構造の採用など地震が起

きても耐えうる庁舎を整備するとの現状の記載に問題はないと思いますが、安全安心な庁舎整備に努めるというスタンスは、今後も変わらず持ち続けるべきです。

【C委員】 設計時のボーリング調査が重要なので、どこで実施するのかを精査していただくことが必要と考えます。この記載内容については調査した山口大学に確認してもらった内容でしょうか。

【嶋壽室長】 調査に係る点につきまして、山口大学に確認いただいています。

【鵜委員長】 他に、全体を通して意見等はないでしょうか。

意見がないようでしたら、本日は山口市新庁舎整備基本計画案について専門会議として了承したいと思います。いかがでしょうか。

(委員了承)

【鵜委員長】 ありがとうございます。それでは、本専門会議としてこの山口市新庁舎整備基本計画案について了承したいと思います。ありがとうございました。

3 その他

【鵜委員長】 それでは次第3その他に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

【中谷部長】 山口市新庁舎整備に係る断層調査について、指摘を受け、山口大学に確認しました結果、一部修正がありました。その内容について説明をさせていただきます。

【嶋壽室長】 先ほど基本計画案本編の説明でも若干触れましたが、この度の報告内容に対する指摘を受けて山口大学で修正された点を説明します。

御指摘としまして、大きく2つの疑問点を挙げておられます。まず、疑問点1として、地質の齟齬があるのではないかとということ、そしてこれを根拠とするまとめの「泥質片岩と岩脈の地質境界ー」という記載を見直す必要があるという点、次に、疑問点2として、地震反射関連断面と地形及び地質断面図の並びの方向が逆に記載されていたため、上記の疑問を招いた点、また、いずれの測線にも北西（山）側だけにしかボーリングデータがないため、厳密にいうと南東（平地）側での基盤形状は確認されていないことになるという点が挙げられています。この疑問点を受けまして、山口大学で精査され、一部内容の修正をいただいたところです。

具体的には、まず、疑問点1について、地質境界と判断したということ等を追記されるなど、内容を改められています。

また、疑問点2の図面の並びの方向の点に関しては、断面図を当初の内容から反転させ、「山口県地質図第3版」で示された伏在断層の位置を追記されています。この点以外にもいくつか修正等をされています。

しかし、結論の部分では、「第四紀に繰り返し活動した証拠を有する活断層はない」とされ、変更はありませんでした。市としては、この結果を踏まえ予定どおり6月末の基本計画策定に向け作業を進め、早期に設計に着手したいと考えてい

ます。

【鵜委員長】 活断層についての説明でした。それと、結論に変更はないということです。予定どおり6月末の基本計画決定に向けて作業を進め、設計に着手するスケジュールであるということでした。委員の皆さんから質問等はございますか。

本編の51ページの事業スケジュールで令和元年ー2019年から基本設計・実施設計の赤い矢印が約21ヶ月で示されており、このスケジュールで進めるという事務局の説明でよろしいですか。他に御質問等はないでしょうか。

【鵜委員長】 無いようでしたら、続きましてその他事務局から説明はございますか。

【嶋壽室長】 今後のスケジュールについて説明します。本基本計画案については、今後パブリックコメントを経て、6月末の決定を目指して進めたいと考えています。その後、設計業務の業者選定の手続きに入り、設計業務の受託者が決まり、基本設計の事業工程や設計の内容等を専門会議の委員の皆様にお示しできるのは、秋以降になるものと考えています。次回の専門会議については、必要に応じ開催することがあるかもしれませんが、基本的には秋以降で調整させていただきたいと考えています。スケジュールについては以上です。

【鵜委員長】 ただいま事務局から今後のスケジュールについて説明がありました。次回の会議については、必要に応じては開催する可能性もあるものの、基本的には設計業者が決定した後、基本設計の事業工程や設計内容等について協議をいただきたいとの説明がありました。時期としては、秋頃ということですので、よろしくお願いします。日程は、改めて委員の皆さんに日程調整をしながら決定することとします。何か質問はございますか。

無いようでしたら、本日の議事は全て終了します。今回をもって基本計画を皆さんに承認をいただき、これからパブリックコメント等に入って、基本設計・実施設計に進んでいくということです。引き続き山口市新庁舎の専門的な検討について御協力賜りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。それでは、進行を事務局にお返しします。

【濱田次長】 ありがとうございます。それでは、最後になりますが、中谷総務部長より、一言お礼申し上げます。

【中谷部長】 本日は、鵜委員長はじめ委員の皆様には、熱心な御議論、また貴重な御意見を賜りまして、誠にありがとうございます。はじめに説明いたしましたとおり、本専門会議での基本計画の検討は、本日で最後となる予定でございます。

昨年8月の第1回の会議から、本日まで第5回の会議を重ねていただきまして、専門的な見地から多くの貴重な御意見をいただいております。そのお陰をもちまして、良い形で基本計画案を取りまとめることができたものと考えております。委員長をはじめ委員の皆様にご改めしてお礼を申し上げます。これから山口市議

	会の特別委員会、パブリックコメント等を経まして、6月末には基本計画を完成させまして、次のステップに進みたいと思います。委員の皆さまには、引き続き、基本設計においても御意見・御助言いただき、新本庁舎の整備に向けまして、一層のお力添えをお願いします。それでは、本日の専門会議は以上で終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。 以上
会議資料	・ 次第 ・ 山口市新本庁舎整備基本計画（案） 本編 ・ 山口市新本庁舎整備基本計画（案） 資料編 ・ 山口市新本庁舎整備基本計画（案） 概要版
問い合わせ先	総務部 本庁舎整備推進室 TEL 083-934-4151